

# 日本ビジネス 実務学会 会報

2006年4月30日

NO. **44**

発行  
日本ビジネス実務学会

事務局 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学気付 TEL・FAX 027-344-7587 E-mail tsuboaki@tcue.ac.jp URL: <http://www.b-jitsumu.com/>



## C・O・N・T・E・N・T・S

### ●2005年度ブロック研究会活動報告〈2～6〉

- ・北海道ブロック……………2
- ・関東・東北ブロック……………2・3
- ・中部ブロック……………3・4・5
- ・近畿ブロック……………5
- ・中国・四国ブロック……………6
- ・九州・沖縄ブロック……………6

### ●研究発表一覧〈7〉

### ●2005年度ブロックリーダー・サブリーダー

および運営委員〈8〉

### ●2005年度新入会員〈8〉



# 2005年度 ブロック研究会活動報告

## 北海道ブロック

平成17年度ブロック研究会は2006年1月28日（土）、道都大学研究センターを会場に開催された。研究報告の申し込みが多数あったため、午前・午後の二部構成とし、会員校の学生によるプレゼンテーションコンテストを午前の部に、総会をはさみ、午後の部では、6件の研究報告が行われた。ビジターを含めた20名の参加者に加え、学生、保護者の参観もあり、活気ある研究会となった。



### ●午前の部 プレゼンテーションコンテスト

4組5名の学生が参加し、「私の学生生活」をメインテーマに、パワーポイントを用了5分間のプレゼンテーションを行い、日頃の学習成果が披露された。審査結果は以下のとおりとなり、順位によって賞品が授与された。

#### 第1位

岩崎 智子さん（札幌国際大学国際文化学科4年）  
「私の学生生活—演劇のある暮らし」

#### 第2位

林 優希さん（札幌国際大学観光文化学科4年）  
「私の大学生活」

#### 第3位・第4位（同点）

嶋田亜希子さん（北海道武蔵女子短期大学教養学科2年）  
「私の学生生活—笑う門には福来たる」  
鈴木 麻友さん・角張加奈子さん（北海道武蔵女子短期大学教養学科1年）

「短大で身につけたいこと、身につけられること」

## 関東・東北ブロック

平成17年度の関東・東北ブロック研究会は、本年度もリーダーほか18名の運営委員の協力を得て運営を行った。委員は「ブロッ



### ●午後の部

#### 1. 総 会

前年度の活動、新年度活動の予定について報告の後、主にプレゼンテーションコンテストのさらなる充実のため、コンテストなど今後の研究会の運営について意見交換した。また、平成18年度全国大会北海道開催への協力が呼びかけられた。

#### 2. 研究報告

##### 1) 「医療秘書教育における現状と今後の課題」

大塚 映氏（札幌医療秘書福祉専門学校  
札幌国際大学非常勤講師）

##### 2) 「Adding Validity to Certifications' An American View」 ジェームス・デビット・ハイアー氏 （札幌国際大学短期大学部）

##### 3) 「短期大学におけるキャリア教育」

津山 広行・椿 明美氏（札幌国際大学短期大学部）

##### 4) 「派遣型労働者における能力開発支援システムのモデル化構想」 田口 智子氏（浅井学園大学短期大学部）

##### 5) 「札幌国際大学のインターンシップ運営について」

武井 昭也・沢田 隆氏（札幌国際大学）

##### 6) 「事例報告 ファシリテーターの役割と実践」

加藤由紀子氏（専門学校日本ビジネススクール）

いずれも興味深い報告内容ではあったが、時間の関係上、質疑応答の時間が不足するなど、今後への課題も残された研究会となった。

なお、研究会終了後、会場を移して懇親会が行われ、会員間の親睦を深めるよい機会となった。

（官尾 昌子 記）

ク研究委員会」と「共同研究委員会」の2グループに分かれ、実務的作業は各グループで連絡し合っており、最終的な意思決定は全運営委員の全体会で意見交換を行い、決定した。年間を通して3回の運営委員会を開催し、会の運営について熱心に議論し合うことができた。



「共同研究委員会」は2005年度～2006年度（平成17年度～平成18年度）の研究助成共同研究テーマとして以下の研究を採択した。  
・「若年就業と企業採用の動向の研究」 研究代表 佐藤美津子

「ブロック研究委員会」は、第33回関東・東北ブロック研究会の統一テーマを「キャリアデザインとビジネス実務教育II」とし、平成18年2月19日（日）に東京商工会議所において開催し、約50名の参加者があった。今回の研究会の特徴はパネルディスカッション、ワークショップ、研究発表の3段階に分け、参加者全員が何らかの形で参画できるように企画したことであった。

## ●午前の部

### 1. 関東・東北ブロック研究会総会

### 2. パネルディスカッション「自立した人材の育成に向けて」

パネリスト：熊谷 和久（市立横須賀総合高校 校長）  
加茂 洋一（NTT東日本ビジネスユーザ  
事業推進本部ブロードバンド  
ビジネス開発課長）  
小坂橋孝雄（産能短期大学職業サポート  
センター）

コーディネーター：山口 憲二（新島学園短期大学）

## ●午後の部

### 1. ワークショップ

- ①「面接時のマナーと指導—その手法と留意点」 古閑 博美
- ②「体験型授業の基本的な考え方」 渡辺 裕一
- ③「魅力的なエントリースート作成の指導法」 牛島 倫子



### ④「新入生オリエンテーションのプログラム」 山口 憲二

### 2. 研究発表

- ・「大学生の就職活動の現状と早期離職の背景」 佐藤美津子
- ・「フォロアーシップ研究」  
高橋真知子・小籠 和子・内藤 英俊・大島 武
- ・「特色ある大学教育支援プロプログラムに採択された取り組み  
における教授法」 曾我恵美子・鎌田 りみ・瀧脇 久美

## ●懇親会

終了後、関東・東北ブロック研究会運営委員会を開催し、今回の研究会の反省会を行い、かつ、6月の全国大会、次回のブロック研究会への抱負を討議し、終了した。以上（武田 秀子 記）

# 中部ブロック

## <ブロック運営委員会の活動>

運営委員会は、平成18年1月7日（土）に、名古屋市の中心地に存在する名古屋文化短期大学で開催され、概要は以下のとおりである。

### 1. 平成17年度研究会の活動報告について

- (1) 当研究会の引き継ぎについて (①役員・運営委員の交替  
②会計③研究発表の募集④研究助成⑤会員募集⑥プレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞⑦学生プレゼンテーション  
コンテスト⑧本部への要望)



- (2) 平成17年度ブロック研究会の開催について
- (3) 会員の動向について
- (4) その他

## 2. 平成18年度研究会の活動方針について

- (1) 研究助成について
- (2) 会員募集について
- (3) 学生プレゼンテーションコンテストの導入について
- (4) 運営委員会の役割分担について
- (5) プレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞について
- (6) 会報の発報について
- (7) 平成18年度研究会の開催について
- (8) 本部への要望について
- (9) その他

(柴山 正 記)

## <ブロック研究会の開催>

平成17年度の中部ブロック研究会は、平成18年1月7(土)・8

日の両日、名古屋文化短期大学において41名の参加のもとに開催されました。

ブロック・リーダー柴山先生の「①日本ビジネス実務学会発足10年の節目に、本学会がより一層輝くために、この研究会のさら



なる飛躍・発展への期待 ②日本ビジネス実務学会（全国大会）への参加依頼 ③例年になく豪雪にも関わらずたくさんのご参加に感謝」の開会挨拶の後、まず総会が行われ、「前述の平成17年度の活動報告と平成18年度の活動方針」が満場一致で承認され、続いて研究発表がありました。

第1日は、当研究会の助成を受けた「デジタルノートを使ったビジネス実務教育の開発」、平成17年度文部科学省選定 現代GPに採択された「人材交流による産学連携教育：産学コラボレーションによる総合体験型授業～インターネット販売とビジネスゲームを活用して」、研究発表1件があり、それぞれに活発な

質疑応答がありました。当研究会初の試みである「学生プレゼンテーションコンテスト」には、金城大学短期大学部の中村有里さん、米田純子さんと名古屋文化短期大学の万リンさんの3人でしたが、「優秀付け難く審査委員も苦慮した」との講評がありました。この3人にエールを送ると共に指導された先生に感謝し、次回はさらに多くの学生が参加することを期待します。その後、同会場で、和気藹々とした雰囲気のもとで懇親会が行われました。

第2日は、5件の研究発表が行われ、やはり昨日同様に活発な質疑応答があり、最後に運営委員の福岡先生に全体の講評を頂いて有意義な研究会でした。（清水たま子 記）

## 近畿ブロック

2005年度の近畿ブロック研究会は、2006年2月18日（土）、西宮市大学交流センターにて開催した。個人発表6件、ブロック助成研究報告1件、講演1件で、昨年度に続いて研究発表は盛況であった。役員が交代したこともあり、総会では今後の運営について確認をした。2004年、2005年度教授法助成研究として、近畿ブロックの『大学・短期大学におけるキャリア形成』（芳田茂樹他5名）は継続中であり、結果の集計中であると説明された。

### 研究助成報告

近畿ブロック助成研究の報告は1件、「ビジネスワーカーと情報価値創出」と題して喜島郁子（近畿大学）松村卓司（株式会社パナソニック）馬田卓治（トレンドマイクロ株式会社）大窪久代（近畿大学）の4名によるものであった。

### 個人研究発表

個人研究発表は以下の5件あった。

『「比べる」—情報活用の基本』河原 和英

『若者の無軌道性の改善方法』林 雄太郎（大阪キリスト教短期大学）

『大宮能売命の秘書性—秘書の神様の提案』仁平 征次（社団法人 日本経営協会）

『男女共同参画社会基本法施行後の家族』中川 伸子（神戸女子短期大学）仁平 章子（賢明女子学院短期大学）

『女子大学卒業生の職業意識の調査・分析』磯林 征一（園田学園女子大学短期大学部）学生）生活文化学科情報メディアコース学生6名）

### 講演会

『企業の人材育成の考え方とその変遷』中川 淳一（日本経営協会 経営戦略グループ課長）竹内 藤男（竹中工務店 人事室採用・能力開発副部長）

企業の人材育成の方向性、課題、人材採用の現状などが話され貴重な情報が確認でき大変有意義であった。



## 中国・四国ブロック

2005年度は当ブロック運営委員改選の年にあたり、佃昌道ブロックリーダーの他、4名の運営委員が2期4年の任期を満了し、新たに渡辺和枝ブロックリーダー、今林宏典サブリーダーをはじめ4名が新任、4名が再任され、あわせて8名の運営委員による新体制が9月よりスタートした。

### ◆ブロック総会の開催

2005年9月3日（土）岡山県倉敷市、川崎医療福祉大学において開催。

- ①2004年度ブロック事業報告
  - ②2004年度ブロック会計報告
  - ③2005年度ブロック事業計画
  - ④2005年度ブロック予算
  - ⑤理事会報告
  - ⑥新運営委員の選出
- 等について審議され、了承された。

### ◆ブロック研究会の開催

2005年9月3日（土）～4日（日）

岡山県倉敷市、川崎医療福祉大学において開催

参加者37名、発表件数10件

22回目となる今年度のブロック研究会は、岡山学院大学の岡部

瑞穂先生や、会場を提供してくださった川崎医療福祉大学の今林宏典先生をはじめ、岡山地区の先生方のお世話により、例年どおり1泊2日の日程で開催された。2日間にわたる研究発表では、ビジネス実務能力、プレゼンテーション能力の養成に関するものから、新しい時代に即したビジネスデザインの体系化、また、それぞれの専門領域に関する研究、ブロック研究会助成の共同研究発表など、多岐にわたる興味深い内容の研究発表会となった。

また、懇親会では、今年度より当ブロックにお迎えした川崎医療福祉大学の島名正英先生の司会により、大変和やかな楽しい時間を持つことができた。中国・四国ブロックでは年1回の研究会の開催であるが、今年度も、多くの方の参加、発表をいただき、会員相互の親睦を深めることもでき、盛況のうちにすべてのプログラムを終了した。

### ◆運営委員会の開催

第1回 2005年6月5日（土）高崎経済大学

第2回 2005年9月3日（土）川崎医療福祉大学

第3回 2005年9月4日（日）川崎医療福祉大学

本年度の運営委員会は、第1回・第2回の運営委員会は旧メンバーにより、また、第3回は新メンバーによる開催となった。運営委員会では、①運営員の選出、②2006年度開催の全国大会、③共同研究、④ブロック研究会の開催、⑤会員の増強、⑥ブロック会報の発行、⑦学生のプレゼンなどについて審議した。

2006年6月3日（土）・4日（日）には、サンポート高松において第25回全国大会を開催することが決定しており、高松短期大学の山野邦子先生を中心に準備が進められているところである。

## 九州・沖縄ブロック

2005年度の九州・沖縄ブロック研究会は、熊本市と福岡市で下記のとおり開催された。

**第38研究会** 期 日：平成17年10月8日（土）

会 場：熊本市国際交流会館

出席者：11名

#### 研究発表

「就職面談に関する教授法」

発表者 山本 浩貴（東筑紫短期大学）

発表者 白川美知子（九州共立大学）

座 長 有馬 恵子（鹿児島女子短期大学）

「所謂、公企業の私企業化に関する一考察」

発表者 北原 康司（釜山女子大学）

座 長 有馬利加子（鹿児島女子短期大学）

休 憩

「成果主義の検証と人事制度改革の行方」

発表者 杉原 英夫（九州共立大学）

座 長 花崎 正子（東筑紫短期大学）

懇親会 「紅蘭亭」中華料理

**第39研究会** 期 日：平成18年2月18日（土）

会 場：アクロス福岡 702会議室

出席者：16名

#### 研究会発表

「論考、ビジネス実務教育と社会生活」

発表者 北原 康司（釜山女子大学）

座 長 藤村やよい（久留米信愛女学院短期大学）

「情報検索サービスにおけるコミュニケーション能力」

発表者 木原すみ子（九州龍谷短期大学）

座 長 江藤智佐子（筑紫女学園短期大学）

休 憩

「人的資源の変遷に関する一考察」

発表者 白川美知子（九州共立大学）

座 長 杉原 英夫（九州共立大学）

「e-ラーニングの教育効果と効果的活用」

発表者 山本 浩貴（東筑紫短期大学）

座 長 水口 映子（九州産業大学大学院博士課程後期）

懇親会 「三四郎」白魚料理

九州・沖縄ブロック研究会は、例年2回開催され、1回目は九州各地で、2回目は福岡で開催される。

第38回の熊本会場は、九州の中央にあたるため、鹿児島や熊本からの参加者があった。翌日は、熊本城見学など久しぶりに寛いだ一時であった。

第39回の福岡会場で、研究会前に運営委員会を開催した。その際、前年度の活動報告、会計報告、今年度の活動状況、来年度の事業計画が審議承認された。

運営委員会の後、研究会会場にて上記の提案、計画などの議案が提出され承認された。

熱海から中村長哉先生も参加され、研究会では、活発な質疑応答。懇親会では、室見川河畔の白魚料理で、さらなる親睦を深めた。第40回10月7日沖縄会場、第41回2月17日福岡会場で開催予定である。

（白川美知子 記）



# 研究発表一覧

趣意書に掲載されている研究区分によりまとめてあります

## ① ビジネス実務の教育開発研究

### 1) ビジネス実務プログラム開発と教材開発プログラム

- ・「e-learningコンテンツ作成に関する一考察」  
佐久間 潔（一宮女子短期大学）
- ・「就職面談に関する教授法」 山本浩貴（東筑紫短期大学）  
白川美知子（九州共立大学）

### 2) 授業方法の研究

- ・「医療秘書教育における現状と今後の課題」  
大塚 映（札幌医療秘書福祉専門学校 札幌国際大学非常勤講師）
- ・「札幌国際大学のインターンシップ運営について」  
武井 昭也・沢田 隆（札幌国際大学）
- ・「事例報告 ファシリテーターの役割と実践」  
加藤由紀子（専門学校日本ビジネススクール）
- ・「特色ある大学教育支援プログラムに採択された取り組みにおける教授法」  
曾我恵美子・鎌田 りみ・瀧脇 久美（湘南短期大学）
- ・「プレゼンテーション教育の実践報告」  
戸田 昭直（浜松学院大学）

## ② ビジネス実務の調査・研究

### 1) ビジネス環境と実務

- ・「派遣型労働者における能力開発支援システムのモデル化構想」  
田口 智子（浅井学園大学短期大学部）
- ・「大学生の就職活動の現状と早期離職の背景」  
佐藤美津子（湘南国際女子短期大学）ほか
- ・「企業における秘書組織および秘書業務の基本的特徴―二重構造的に焦点をあてて―」  
福岡 欣治・中村 健壽（静岡文化芸術大学）
- ・「法律事務所における情報化の現状」  
西川三恵子（名古屋経営短期大学）  
中村 健壽（静岡文化芸術大学）
- ・「名古屋女子大学短期大学部における就職支援の現状と課題」  
木下圭一郎・越原洋二郎・柴山 正  
（名古屋女子大学短期大学部）
- ・「『男女共同参画社会基本法』施行後の家族」  
中川 伸子（神戸女子短期大学）  
仁平 章子（賢明女子学院短期大学）
- ・「病院原価計算の課題―間接費の配賦計算を中心に―」  
谷光 透・須藤 芳正（川崎医療福祉大学）
- ・「オープンソース利活用による新たなビジネスの進展」  
山本 慶子（香川短期大学）
- ・「所謂、公企業の私企業化に関する一考察」  
北原 康司（釜山女子大学）
- ・「成果主義の検証と人事制度改革の行方」  
杉原 英夫（九州共立大学）
- ・「人的資源の変遷に関する一考察」  
白川美知子（九州共立大学）

- ・「Babson大学におけるアントレプレナーシップ教育手法について」  
寺島 雅隆（名古屋文化短期大学）
- ・「若者の無軌道性の改善方法」  
林 雄太郎（大阪キリスト教短期大学）
- ・「学生の自己改革力を高める教育事例―プレゼンテーションの授業を通して―」  
金岡 敬子（鈴峯女子短期大学）
- ・「高等学校・普通教科「情報」受講第1期生を受け入れるにあたって」  
原 和陽（作陽短期大学）
- ・「まちづくりボランティアにおけるビジネス実務能力養成の試み」  
久次 弘子（広島国際大学）
- ・「秘書科ビジネス系科目体系の連携―学科別セミナーの企画を通して―」  
立花 知香（安田女子短期大学）
- ・「情報検索サービスにおけるコミュニケーション能力」  
木原すみ子（九州龍谷短期大学）
- ・「e-ラーニングの教育効果と効果的活用」  
山本 浩貴（東筑紫短期大学）

### 2) 時代を切り拓くビジネス実務

- ・「Adding Validity to Certifications' An American View」  
ジェームス・デビット・ハイアー（札幌国際大学短期大学部）
- ・「短大生の公共マナーに関する実態―意識と行動について―」  
高塚 順子（高松短期大学）
- ・「ビジネスデザイン学の体系化をめざして―ビジネスデザイン情報学科シラバス作成にむけて―」  
篠原 収（広島女学院大学）
- ・「組織の崩壊要因について―大学・短大を中心に―」  
森貞 俊二・渡辺 和枝（松山東雲短期大学）
- ・「論考、ビジネス実務教育と社会生活」  
北原 康司（釜山女子大学）

### 3) 個人とチームの実務能力の開発

- ・「短期大学におけるキャリア教育」  
津山 広行・椿 明美（札幌国際大学短期大学部）
- ・「ビジネス現場におけるフォローアップ」  
高橋真知子（常盤短期大学）  
小籠 和子（㈱ライトマネジメントコンサルタンツジャパン）  
内藤 英俊（産業能率大学）  
大島 武（東京工芸大学）
- ・「女子大学卒業生の職業意識の調査・分析」  
磯林 征一（園田学園女子大学短期大学部）
- ・「『比べる』―情報活用の基本」  
河原 和英（大阪樟蔭女子大学）
- ・「インターンシップ経験が職業意識形成に与える効果について(3)」  
桐木 陽子・郡司島宏美（松山東雲短期大学）

### その他

- ・「大宮能売命の秘書性―秘書の神様の提案」  
仁平 征次（社団法人 日本経営協会）

## 【北海道ブロック】

- ◎椿 明美〈札幌国際大学短期大学部〉  
○和田 佳子〈北海道武蔵女子短期大学〉  
丹治 和典〈札幌国際大学〉  
武井 昭也〈札幌国際大学〉  
佐々木邦子〈北海道浅井学園大学〉  
大塚 映〈札幌医療秘書福祉専門学校〉  
官尾 昌子〈北海道武蔵女子短期大学〉  
北崎 寛〈札幌国際大学〉

## 【関東・東北ブロック】

- ◎武田 秀子〈高崎商科大学短期大学部〉  
大島 武〈東京工芸大学〉  
牛島 倫子〈鶴見大学短期大学部〉  
大宮 智江〈高崎商科大学短期大学部〉  
岡田小夜子〈高崎商科大学短期大学部〉  
北垣日出子〈日本橋学園大学〉  
小籠 和子〈(株)ライトマネジメントコンサルタンツジャパン〉  
古閑 博美〈嘉悦大学短期大学部〉  
佐藤美津子〈湘南国際女子短期大学〉  
○芝原 脩次〈WAKUWAKUヒューマンカンパニーオフィスしばはら〉  
眞保 智子〈高崎健康福祉大学短期大学部〉  
堤 幸男〈GROUP C&HB〉  
坪井 明彦〈高崎経済大学〉  
長谷川文代〈湘北短期大学〉  
○畠田 幸恵〈湘南短期大学〉  
高橋眞知子〈常磐短期大学〉  
宮田 篤〈青森中央短期大学〉  
山口 憲二〈新島学園短期大学〉  
渡辺 裕一〈産能短期大学〉

## 【中部ブロック】

- 一柳 達幸〈秘書学研究会〉  
○岡野 絹枝〈金城大学短期大学部〉  
川口 直子〈名古屋文化短期大学〉  
北潟 克輔〈金城大学〉  
越原洋二郎〈名古屋女子大学〉  
◎柴山 正〈名古屋女子大学短期大学部〉  
○清水たま子〈愛知江南短期大学〉

- 西川 峰高〈金沢学院大学〉  
福岡 欣治〈静岡文化芸術大学〉  
真弓 徳光〈高田短期大学〉  
水口美知子〈名古屋経済大学短期大学部〉

## 【近畿ブロック】

- ◎油谷 純子〈大阪国際大学短期大学部〉  
○足塚 智志〈大阪女子短期大学〉  
水原 道子〈大手前大学短期大学〉  
野坂 純子〈大手前大学短期大学〉  
塚原 昭人〈四天王寺国際仏教大学〉  
磯林 征一〈園田学園女子大学短期大学部〉  
仁平 章子〈賢明女子学院短期大学〉  
服部美樹子〈大阪学院短期大学〉  
田中 朋子〈相愛女子短期大学〉  
加藤 晴美〈プール学院大学短期大学部〉  
石田 紘子〈京都学園大学〉  
有働 寿恵〈梅花女子大学短期大学部〉

## 【中国・四国ブロック】

- ◎渡辺 和枝〈松山東雲短期大学〉  
○今林 宏典〈川崎医療福祉大学〉  
石井 三恵〈広島女学院大学〉  
川端 淑子〈山陽学園大学〉  
関 由佳利〈高松短期大学〉  
曾根 康仁〈(有)リスピー21環境開発研究所〉  
久次 弘子〈広島国際大学〉  
松永満佐子〈四国大学短期大学部〉

## 【九州・沖縄ブロック】

- ◎白川美知子〈九州共立大学〉  
○木原すみ子〈九州龍谷短期大学〉  
坂本 一登〈福岡女子短期大学〉  
杉原 英夫〈九州共立大学〉  
大城 智美〈沖縄女性研究者の会〉  
藤村やよい〈久留米信愛女学院短期大学〉  
山本 浩貴〈東筑紫短期大学〉  
江藤智佐子〈筑紫女学園短期大学〉  
花崎 正子〈東筑紫短期大学〉

※ ◎リーダー、○サブリーダー（敬称略）

## 2005年度 新入会員（2004年8月22日～2005年8月20日）

敬称略・50音順

## ◇正会員・学生会員

- 市毛 愛子〈大阪芸術大学短期大学部〉  
伊藤 享子〈オフィス成旺〉  
江口 真理〈青森明の星短期大学〉  
奥村 憲〈産能短期大学〉  
河合 真知〈(有)YOU企画〉  
菅野 修一〈東北生活文化大学短期大学部〉  
酒井 健〈大手前大学〉  
坂本 理郎〈(株)ライトマネジメントコンサルタンツジャパン〉  
坂本 祐子〈高崎経済大学大学院〉  
島川久美子〈株式会社 ウィ・キャン〉  
瀧口 淑恵〈総合メディカル(株)〉  
多田 稔〈高崎経済大学大学院〉  
田島 恵子〈東京田中短期大学〉  
谷光 透〈川崎医療福祉大学〉  
土屋 博之〈名古屋学院大学大学院〉  
手嶋 慎介〈高田短期大学〉  
戸田 博之〈三井住友海上シティ生命〉

- 中川 雅人〈中部大学短期大学部〉  
中村 昭典〈中部大学〉  
中山 貞敏〈公認会計士 中山事務所〉  
西村 香織〈折尾愛真短期大学〉  
花塚 恵〈アデコ(株)〉  
平国美佐喜〈鹿児島純心女子短期大学〉  
細野 和美〈高崎経済大学大学院〉  
堀川 可文〈Yoshi英語塾〉  
松尾 広〈東北生活文化大学短期大学部〉  
南 聡子〈南デザイン事務所〉  
宮下 美裕〈(株)日本航空インターナショナル〉  
渡邊 大輔〈高崎経済大学大学院〉

## ◇賛助会員

- 早稲田教育出版（株）早稲田ビジネスサービス

## 学会報43号に関する訂正とお詫び

椿美先生のプレゼンテーションのタイトルは「魅力行動学の目指す魅力行動」ではなく、正しくは「キャリア支援のためのコミュニケーション力育成教育」でした。ご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに訂正いたします。